

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



IMAGINE ROTARY

イマジン
ロータリー

第1587回例会 令和4年7月14日(木)

【会長の時間】

畝 徳治

皆さん、こんにちは。新型コロナウイルス第7波という事ですが、ウィルスの性質について何十年も前も今も科学的に同じだなという事です。



この本は1993年の4月から6月にNHKで放送されました。今のウィルスに共通するところもあるという事です。当時大学の先生でしたが現在塩野義製薬の代表取締役副社長の畑中正一さんの話です。読んでみま

す。ウィルスの研究をしていると、生命とは何かということを考えるようになりました。私たちはウィルスを研究していて、生命とは情報であるという結論に達しました。すなわち情報こそ命なのです。

ウィルスも生物も人間も、太陽系で初めて作り出された最古の情報なのです。この情報は遺伝情報と呼ばれ、世界最古にできあがり、現在発見され、そして未来に伝えられていきます。これはたった四つの文字でDNAまたはRNAとよばれる高分子のテープの上に書き込まれています。人間の遺伝情報もウィルスの遺伝情報も、共通の文字、共通の言語で書かれているのです。

ウィルスは、ただひたすら自分の情報を次の時空に伝えようとする進化の極致にいるもののような感じがします。情報を次の時空に伝えるには、何も細胞などなくてもいいのです。ウィルスは地球上をさまよう情報の塊のようなものです。どの生物にも住みついて、自分の情報をコピーしようとします。そのために細胞という形をなくして、ホストの中で情報を増やしていくのです。

では、こういったものをウィルスということですが、ウィルスには遺伝子のレベルで大きく分けて二つの種類があります。一つのタイプは遺伝子としてDNA(デオキシリボ核酸)を持っており、もう一つは遺伝子としてRNA(リボ核酸)を持っています。DNAもRNAも、生物界すべてが使っている大変大切なポリマー(高分子重合体)で、この中には四つの文字で遺伝情報が書き込まれています。つまり、文字を書き込んでいるテープがDNA、またはRNAというわけです。

テープ(ポリマー)の素材は糖とリン酸です。普通、砂糖は、構造的には六つの炭素が並んでいるものが二つ重なりあったものですが、それが五つの炭素で成っているものをリボース、あるいはそのリボースより酸素が一つ足りないものをデオキシリボースとっています。糖より酸素が一つ足りないことで、DNAの方は非常に丈夫で長持ちのテープになっています。一方、RNAはDNAより酸素が一つ多いために、逆につぶれやすいテープ、壊れやすいテープ、ちぎれやすいテープになっています。人間も生物もすべて、丈夫で長持ち、しかも二本のチェーンのようにからみあった形になっている非常に安定したDNAと、ちぎれやすいRNAから成っています。ウィルスもまた、DNAとRNAをうまく使って、ウィルスとして生き延びているのです。

人間もウィルスも、これらのDNAやRNAのテープに四つの文字を書き込んでいます。この四種類の文字の並び方が遺伝情報、あるいは遺伝子といわれるものです。それぞれがその四つの文字を使って自分と同じものをつくるという営みをしていて、さらにその情報を未来に伝えていきます。つまり人間とウィルスが同じことをやっているがために、各々の情報の間で競争が始まり、ウィルスは人間に病気を起こさせるということになるのです。

補足として新型コロナウイルスは、RNAウィルスに分類されます。DNAウィルスに比べてRNAウィルスは、遺伝情報を伝える際に一部の情報の伝達が誤って伝わるコピーミス(変異)が起こりやすい構造になっています。変異して次々新しい病気になるという事で、ちぎれやすいとか壊れやすい、これが次の新しい病気になるという事でウィルスから見ると長所になる性質を持っているという事です。

【幹事報告】

山田 利明



1. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま
2. バギオ基金よりバギオだより
3. 秩父地区暴力排除推進協議会より定期総会について

事業計画発表

畝 徳治会員

今年度委員会については地区の言ってきたタイトルにあわせています。

I クラブ管理運営委員会

1. クラブの冊子を更新し、各種会合の参加者に配布する
2. 親睦例会の内容を早めに詳細化する事で、会員家族が出席しやすくなる。

会員増強

1. 例会時間を有効に使い、例会の密度を高める。
2. 入会候補者がいる可能性の団体と交流する機会を作る。JC及び商工会等
3. 会員見込み者を例会に招待する。
4. 仕事のため平日の例会に出席し難い会員には土日開催のセミナーへの出席を促し、ロータリーを理解する機会とする。

ホームページの活用

1. ホームページに週報を掲載する事で、クラブ雄活動を外部の人に知らせる。
2. 会員卓話の要約等を公開し、会員自身を外部の人に知ってもらう。
3. PETSや地区協議会の状況など週報に載らない情報も会員の見方で掲載する。

II 社会奉仕プロジェクト

職業奉仕

1. 4つのテストを常に意識するよう例会において唱和する。
2. 例会毎にロータリーソング「奉仕の理想」を斉唱する。
3. 優良企業の情報を収集し、職場見学を計画、実施する。

社会奉仕

1. 荒川河川敷の清掃活動を継続して実施する。
2. 地域の祭りに協賛する。
3. 地区補助金を活用した新しい社会奉仕活動を開拓する。

国際奉仕

1. ポリオ撲滅
2. 災害に対して地区の情報を得ながらクラブとして対応方法を検討する。

子ども家庭

1. 子どもの貧困に焦点を当てた委員会（子ども食堂、フードパントリー等）

III 青少年プロジェクト委員会

インターアクトクラブRYLA（青少年指導者要請プログラム）青少年交換があります。

当クラブの対応

1. 皆野町さくらマラソン大会に表彰メダルを寄贈し、表彰式に立ち会う。
2. 長瀬町子ども球技大会に表彰メダルを寄贈し、表彰式に立ち会う。
3. 高校生職場体験プログラムに協力する。

IV ロータリー財団委員会

ロータリー財団の使命を理解し、寄付を継続する。

1. 財団への理解協力を図るため情報資料を提

供する。

2. 会員1人あたり年額寄付100ドルを実施する。

地区補助金を活用して地域の需要に沿った奉仕活動を行う。

1. 社会奉仕活動に地区補助金を活用する方針を検討する。
2. そのため、地区補助金管理セミナーに必要数の会員が出席するよう計らう。

V ロータリー米山記念奨学委員会

事業を理解し、寄付に協力する。

1. 米山月間に米山記念奨学生を招き、卓話を通して国際親善の機会とする。
2. 普通寄付の要請に全会員が協力する。
3. 特別寄付の呼びかけを行う。

VI 研修委員会

RLIプログラムについて

小グループによるファシリテーション手法によって、ロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するために開発された多地区リーダーシップ開発及びロータリー開発プログラムです。ファシリテーションとはお手伝いする役割の事です。

当クラブの対応

雑談は好まれても、大人同士が教え合える事はなかなか難しい事です。地区で計画するRLIセミナーを受講するよう未受講の会員に勧め、全会員がロータリーについて理解を深められるように進める。

VII 戦略計画委員会

第1段階 現状分析ークラブの現状はどうか

1. 会員からの意見を基にクラブの長所と短所を特定する
2. 地域社会のリーダーと会合し、地域社会にある機会と課題を特定する。

第2段階 ビジョンの作成ーどのようなクラブになりたいのか？

例会の時間に議論し、3～6年以内に実現したいクラブの特徴を5～7つ挙げてみる。

第3段階 計画の作成ーどのようにビジョンを実現出来るか？

クラブの長所と短所 地区の目標 地域社会にある機会と課題 クラブ会員の意見 3～5年以内に達成出来る事

具体的にはどうするか分かりませんが、このようなガイドラインで言ってますという事を要約しました。

出席率

免除以外の会員	出席免除会員	出席	メイク	出席率
9	0	5	0	55.6%